



広報

しちのへ

平成24年

1 月号

2012 January No.82



CONTENTS

- 新年のごあいさつ ————— 2～3
- 七戸十和田駅開業一周年特集 — 4～5
- まちのできごとあれこれ ——— 6～7
- 行政のひろば ————— 8～11
- 町政座談会（前半）————— 12～13
- 保健情報 ————— 14～15
- いきいきひろば ————— 16～17
- お知らせ ————— 18～21

謹賀新年

道ノ上保育園（工藤喜代子園長）のきりんぐみ（年長児）の園児26人は12月20日、2012年の干支「辰」にちなんだ絵馬づくりをしました。絵馬は折り紙で作った竜や、鏡もち、お年玉などの絵で飾り、来年の目標や願い事を書きました。

「はやく小学生になりたい」、「いっぱい漢字が書けるようになりたい」、「小学校でサッカーがしたい」など思い思いの目標を持ち、春からの小学校生活をとても楽しみにしているようでした。

<http://www.town.shichinohe.lg.jp>

新年の

ごあいさつ



七戸町長
小 又 勉

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政各般にわたり深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年、世界各地で大規模な災害が発生し、多くの人々

が被害に遭われました。特に、3月に発生した東北地方太平洋沖地震は、未曾有の大津波や火災、福島第一原子力発電所の事故を誘発し、東北地方と関東地方北部の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。

町では、この度の大震災の教訓を生かし、大型発電機の導入や再生可能エネルギーの利用など複合的に防災体制を整備し、町民が安心・安全に暮らせるまちづくりを進めております。

一昨年に開業した七戸十和田駅は、大震災の影響で一時的に乗降客が減少していましたが、JR東日本や地域の皆さまのご努力により回復してきております。さらに、駅に隣接して大型ショッピングセンターがオープンし、道の駅との相乗効果により駅前には活況を呈しております。このにぎわいを中央商店街に誘導することが商工業振興に不可欠であることから、各種イベントを開催し商店街の活性化に努めて参りました。今年も新たな視点で駅前と商店街の一体化を図るための施策を展開し、活気あふれる町の実現に向けて取り組んで参ります。

農林畜産業については、国が環太平洋連携協定・TPPへの交渉参加を決定いたしました。TPPへの加入は、日本経済を大きく転換させ、食の安全、医療、金融など、幅広い分野で影響が懸念されます。特に、農産物の自由化は、食糧自給率の低下を招き、農業や地方経済が衰退する恐れさえあることから、国の動向を注視しながら県及び全国町村会、関係諸団体と連携し、農業はもとより町民の生活を守るために努力して参ります。

また、作るだけの農業から多様な食品加工と多彩な流通を通して付加価値を高め、就業の場を生み出す、いわゆる農業の6次産業化を進め、農業を中心とした地場産業の育成と農業所得の向上を目指します。

教育環境の整備については、児童・生徒の創造性を育み、豊かな人間形成と優れた人材を育成するため、学校・家庭・地域が連携し、地域による学校支援活動を推進するとともに、教育は人づくりという視点に立って、個を生かし、生きる力と夢を育む学校教育を実践して参ります。

一方、当町の少子高齢化は、非常に憂慮すべき問題であります。若者の定住につながる雇用対策や住環境を整備し、生産年齢人口の増加に努めることといたします。

現下の日本経済は、大震災や欧州の政府債務危機、歴史的円高、タイの洪水被害などの影響で、依然として厳しい状態が続いております。町では、このような経済動向や町税、地方交付税等の収入状況を踏まえながら、可能な限り行財政改革を断行し、行政の無駄を省き、皆さまの要望に一つでも多くお応えして参りたいと思います。

今後、当町の豊かな自然や歴史ある文化を最大限に活用した観光資源の開発と、EVや再生可能エネルギーによる環境に優しいまちづくり、さらには企業誘致と地場産業の育成を図るとともに、事業採択された上北横断道路の未着工区間である天間林道路の早期開通と下北半島縦貫道路の整備促進を精力的に要望し、町民が住み良さを実感し、誇りを持てる町の実現に向けてまい進して参る所存であります。

平成24年の新しい年を迎え、町民の皆さまの笑顔が輝く、温もりのある幸せに満ちた一年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

議会を代表し

新年のごあいさつ



七戸町議会議長
白石 洋

新年あけましておめでとう
ございます。

町民の皆さまには、日頃か
ら町政に対するあたたかいこ
理解とご協力を賜り、厚く御
礼申し上げます。

未曾有の大災害となった、
昨年3月11日発生の東日本大
震災から9カ月余が経過した

現在、被災地におかれまして
は、不自由な生活を余儀なく
されている現状にあり、早急
かつ万全な国の復興対策を心
より願うものであります。

幸いにも町民における被害
は微少にとどまりましたが、
長時間にわたる停電、燃料調
達等に町民の皆さまにおかれ

ましては、大変なご苦労があ
ったものとご推察いたします。
東日本大震災を教訓とした
町防災計画の見直しは基より、
太陽光発電をはじめとする各
種再生可能エネルギーの調査
研究を踏まえ、今後、国から
示される再生可能エネルギー
関連法案を基に町づくりに反
映させることが肝要と認識し
ております。

一昨年の12月4日に『東北
新幹線全線開業』を迎え、は
や一年が経過しましたが、関
係各位のご尽力により、先の
大震災からの早期復旧がなさ
れ、9月『イオン七戸ショッ
ピングセンター』のオープ
ンによる『七戸十和田駅』周
辺のにぎわい創出にとどまるこ
となく、『まちなか』におい
て開催された各種イベントへ
の誘客により、町全体の活性
化の推進が図られました。

十和田湖・下北半島方面観
光等の玄関口となる『七戸十
和田駅』からの二次交通につ
いては、駅利用者のニーズに
即した体系の早急な整備が強

く望まれており、今後の駅利
活用促進対策の最重要課題と
なっております。

国においては、大震災復興
財源の捻出、環太平洋経済連
携協定（TPP）交渉への参
加問題等の課題が山積してお
り、地方公共団体の新年度予
算編成の根幹をなす地方交付
税の万全確保が不透明な状況
にあり、政府の方針を注視し
た編成作業が重要とされると
ころであります。

町村合併から8年目を迎え
る当町では、これまでの着実
な『行政効率化の推進』によ
り、財政構造の健全化が図ら
れて参りましたが、今後、中
長期的な大規模財政支出、さ
らに、急速に進展し続ける少
子高齢化社会への諸施策の推
進等、諸課題に堪えうる財政
構造の健全化を堅持した財政
運営が求められております。

観光面においては、『観光
交流センター』及び『道の駅』
等の施設を核とした町全体の
にぎわい創出のさらなる推進
を図り、また、学校教育の充

実、当町基幹産業である農林
畜産業振興はもちろん、六次
産業化の推進、雇用情勢解消
の一翼となる企業誘致を含め
た商工業の振興、人口減少へ
の歯止めとなる諸施策等の推
進が急務の課題であります。

懸案でありました、高規格
道路・上北横断道路の未着工
区間（天間林道路）につきま
しては、新年度予算での事業
採択が確実となっております。
後、早期完成に向け、国・県
への要望を進めて参ります。

町議会では昨年4月、定数
16名でスタートし、現在、『地
方議会の機能強化等』につい
て、『議事機関として、意志
決定機能、政策立法機能・行
政監視機能の能力向上』のた
めの調査研究を実施し、『町
民に開かれた議会』実現に向
け努力して参ります。

結びに、本年が町民の皆さ
まにとりまして、幸多い年で
ありますよう心からお祈りし、
新年のごあいさつといたしま
す。



2階まで観客があふれたステージイベント



りんご娘もステージを盛り上げました



大人顔負けの演奏を披露

祝 七戸十和田駅開業一周年

12月3日、4日の2日間、東北新幹線七戸十和田駅の開業一周年を祝う記念イベントが観光交流センターで開催されました。

3日に行われた記念式典で、小又町長は「七戸十和田駅がにぎわいその効果が駅圏域の市町村にひろがること、本場の開業効果になる。今後も連携をお願いしたい」とあいさつしました。

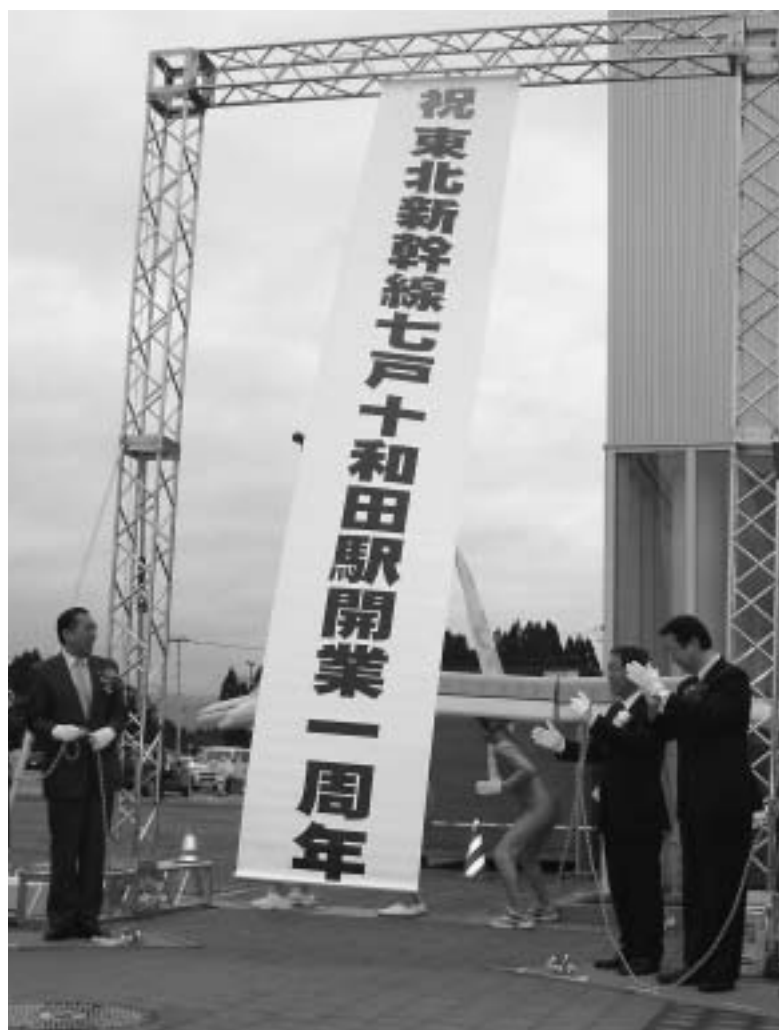
続いて、観光交流センターの外に設置された垂れ幕が開かれ、「祝東北新幹線七戸十和田駅開業一周年」の文字が現れると、会場は大きな拍手に包まれました。

会場では、りんご娘のライブやナイツ、キューティーブロンズのお笑いライブのほか、ゆるキャラショーや郷土芸能発表など多彩な催しが行われました。

また、駅南口の特設会場で同時開催された上北・下北地域特産物産展「うめく道」も大盛況。



振り付け完璧。みんなで「マル・マル・モリ・モリ」



9 23	7 22	6 26	6 23	4 29	4 23	4 13	4 7	4 7	3 22	3 11	3 11	2 11
		27	25				12		21	21		
東北新幹線全線運休												
新青森⇄盛岡間一部運行再開												
青森DC開始												
再開（一部徐行運行）												
JR西船橋駅観光PR												
JR大宮駅観光PR												
青森DC終了												
東北新幹線全線												
正常運行												



七戸十和田駅
開業から1年

2010年
12/4
東北新幹線七戸十和田駅開業



みよこレディもゆるぎやらも笑顔でお出迎え



キューティーブロンズ

いつもPRありがとうございます

開業後のPR活動が地域活性化に貢献したとして、2団体に感謝状が贈られました。



七戸町文化ガイドの会

これを会員の励みにして、七戸町を多くの人に知ってもらえるよう、これまで以上にPRしていきたいです。
(新田純治 会長)



しちのへはやぶさPR隊

震災もあった中、無事に1周年を迎えることができてホッとしています。新函館駅の開業にも連携できるよう、今まで以上にPRを続けたいと思います。
(菅岡哲郎 隊長)



ナイツ



あつあつの長いもスープはいかが?



「うめ〜道」も大にぎわい



2012年
3/17
上り・下り6本ずつの「はやて」
がE5系車両で運行予定

※4/23〜7/22
青森デスティネーションキャンペーン

12/16〜18 JR大宮駅観光PR

12/3〜4 開業一周年 記念イベント

11/24〜27 JR横浜駅観光PR

11/17〜20 JR八王子駅観光PR

11/11〜13 JR仙台駅観光PR

10/30 「青森人の祭典」参加

青森県人会

10/14 鉄道の日セレモニー



毎日笑顔で、にぎやかに

石澤いね子さんに厚生労働大臣感謝状

城北保育園園長の石澤いね子さんが、11月2日、横浜市で開催された全国保育研究大会で、厚生労働大臣感謝状の贈呈を受けました。

石澤さんは、天間みどり保育園と城北保育園の2保育園に合わせて43年間勤務。長年にわたり保育事業に従事した功績が認められ、今回の受賞となりました。

また、石澤さんは11日に役場を訪れ、小又町長へ受賞を報告。「子どもたちに囲まれて、毎日にぎやかに、楽しく過ごすことができた」と43年間で笑顔で振り返りました。



30年勤続体育指導委員全国表彰

七戸町体育指導委員の吉田秋夫さんが11月10日、東京都代々木の東京体育館で開催された、第52回全国スポーツ推進委員研究協会で、30年勤続体育指導委員（スポーツ推進委員）表彰を受賞しました。

吉田さんは、昭和56年に旧天間林村体育指導委員に任命されて以来、30年にわたり地域住民の健康の維持増進、体力向上のために実技指導のほか、各種スポーツ行事の企画運営に携わるなど地域のスポーツ振興に大きく貢献をしてきました。

健康を維持するための秘訣について「楽しみながら運動を続けることが大切。そのためにもスポーツに係わっていることが、大事ですよ」と話していました。

歴史と伝統を未来へ

城南小学校が創立50周年

城南小学校（添ノ澤直人校長）は11月20日、同校体育館で創立50周年記念式典を開催しました。

同校は、昭和37年に七戸小学校から分離独立して開校。以来、現在の校舎がある館野地区への移転、校舎新築、改築、西野・野々上両小学校との統合を経て、現在に至っています。

式典では、松宮伸央記念事業実行委員長や添ノ澤校長のあいさつに続き、スクリーンで50年のあゆみを振り返りました。

児童を代表し、6年生の成田光さんが「城南小学校の

歴史と伝統を受け継ぎ、素晴らしい城南小学校を築き、未来へ引き継ぎます」と力強く誓いました。

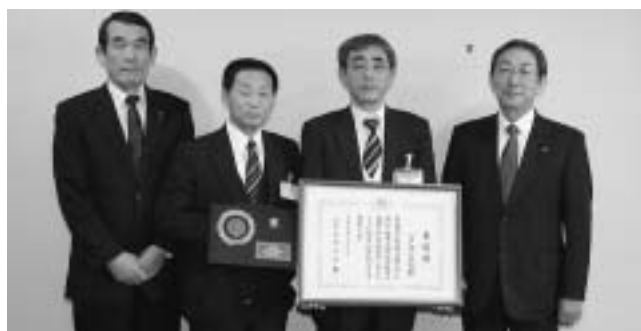
この後、5年生が伝統の城南太鼓の演奏を披露し、式典に華を添えました。



七戸南公民館が「優良公民館表彰」を受賞

七戸南公民館が、文部科学省の「優良公民館表彰」を受賞し、11月28日、小又町長に受賞の報告を行いました。

この表彰は、特に事業内容などを工夫し、地域住民の



学習活動に大きく貢献している公民館に与えられるもの。

同館は開館48年目。町の中心部にある公民館として町民に親しまれており、男女共同参画や人権教育などの現代的な課題をテーマに取り入れた講座を行っていることなどが評価され、今回の受賞となりました。

山谷南公民館長は、「優良公民館表彰の受賞は、昭和41年の旧七戸中央公民館時代の受賞以来、2回目の受賞となります。これもひとえに、利用者の意見を取り入れながら各種講座を実施された諸先輩方のご努力と利用者の公民館講座等での積極的な学習活動の成果が評価を受け、今回の文部科学大臣賞受賞となりました。これからも住民にとって愛着の深い公民館となるよう努力して参りますので、より一層のご利用をお願いします。」と話し、今後の活動に意欲を示しました。

古着を利用した「お手玉」を保育園に寄贈

古着を再利用して、小物づくりをしている市ノ渡貞子さんが11月28日、町内の6 保育園にお手玉50個をそれぞれ寄贈しました。

市ノ渡さんは昨年、人形遊びに使う「かめこ」をつくり町内の保育園に寄贈。今年はその残り布を使い、虫がつかないようにフライパンで煎った小豆を入れてお手玉を作りました。

市ノ渡さんは「園児のお母さんにもお手玉を作って欲しいという願いを込めて作りました」と話し、園児たちに贈りました。



あこがれのプロ野球選手の指導に感激！！

子どものスポーツ活動推進事業平成23年度ジュニア育成事業ベースボールスクール



青森県教育委員会と七戸町体育協会は12月3日、屋内スポーツセンターで「平成23年度ジュニア育成事業ベースボールスクール」を開催し、七戸町と東北町の小・中学生約200人が現役プロ野球選手の指導を受けました。

この日の講師は、福岡ソフトバンクホークスから細川亨捕手（平内町出身）、埼玉西武ライオンズから長田秀一郎投手、武隈祥太投手、斉藤彰吾外野手、田原晃司ブルペン捕手の5人。

子どもたちは、あこがれの現役プロ野球選手の指導に、はじめは緊張している様子でしたが、守備や打撃の基本など、少しでもプロの技術を身につけようと真剣に話を聞いていました。

また、七戸町出身で埼玉西武ライオンズ投手コーチの橋本武広さんを講師に、スポーツ少年団の監督やコーチを対象に指導者講習会も開催。橋本さんは、実際に子どもたちを指導しながら、選手を育成するためのポイントを伝えていました。

伝統の落語で笑いを届ける！

「三遊亭神楽らいぶinしちのへ」

七戸町文化協会（立崎庸夫会長）は12月3日、七戸中央公民館で青森市出身の落語家「三遊亭神楽（さんゆうてい いじんらく）」さんを招いて、落語独演会を開催しました。

「三遊亭神楽らいぶinしちのへ」と題した独演会では、先代の三遊亭円楽師匠の弟子時代の爆笑エピソードや、演目「釜泥（かまどろ）」、「小間物屋（こまものや）」を披露。軽快で巧妙な言葉の妙技で会場を笑いの渦に巻き込んでいました。



七戸中学校がボランティア活動で厚生労働大臣表彰受賞 町長へ喜びを報告

七戸中学校（小川和俊校長）はボランティア功労者として厚生労働大臣表彰を受賞し12月7日、小又町長へ喜びを報告しました。

同校では39年前から資源リサイクル活動を行っている



ほか、募金活動や七戸川清掃への協力など町内のイベントでのボランティア活動に積極的に参加。長年にわたっての活動が評価され、今回の受賞となりました。

生徒会を代表し、福祉委員長で3年生の小栗弥知幸（みちゆき）君が「これまで先輩たちが頑張って活動してくれたおかげで受賞できました」と受賞を報告。

また、同校では昨年1月に「環境美化教育優良校等表彰」のリサイクル部門で農林水産大臣表彰を受賞しており、小川校長は「小栗君たち今年の3年生は、3年間の在学中に2度も大臣表彰を受賞した。これはとても名誉なことであり、十分誇りに思っている」と喜びました。

報告を受けた小又町長は「表彰を励みに、さらに頑張って活動してほしい」とエールを送りました。

所得税 住民税 申告相談のお知らせ

平成23年分の所得税と住民税の申告相談を次のとおり行います。

《会場・期日》

天間林地区

本庁舎2階会議室

2月10日(金)～3月15日(木)

七戸地区

七戸庁舎3階会議室

2月9日(木)～3月15日(木)

(いずれの会場も土、日、祝日を除く)

《受付時間》

午前8時30分～11時

午後1時～3時30分

※申告相談は、当日の受付順に行います。

申告を忘れずに

申告は、公正な課税を行う上で非常に大切なものです。また、申告をしないと、所得証明書などの税金に関する一切の証明書の交付が受けられなくなるなど、大変困ることになります。

収入の無い人や非課税所得のみの人でも、控除対象配偶者や

扶養親族となっている場合を除き、住民税申告が必要となりますので、申告は忘れずに済ませましょう。

申告はお早めに

町では申告会場の混雑をさけるため、世帯ごとに相談日を指定しています。後日、申告相談日を記載した案内はがきを郵送いたしますので、ご協力をお願いします。

例年、指定日に来られない人の相談が、申告期間の終盤に集中することが多く、大変混雑しています。指定日がどうしても都合の悪い人は、早めに申告を済ませるようお願いします。

なお、3月16日以降、役場では所得税の確定申告はできないため、税務署で申告することになります。

※十和田税務署では2月1日(水)から3月15日(木)まで署内会場にて受け付けます。また、青森税務署では、2月19日(日)、26日(日)の閉庁日に申告対応をしていますので、ご利用ください。

申告に必要な人

平成24年1月1日現在、七戸町に住所があり、次に該当する人は申告が必要です。

- ① 各種事業を営んでいる人
 - ② 地代、家賃収入のある人
 - ③ 給与所得者で年末調整を受けていない人
 - ④ 年金を2力所以上から受給されている人や公的年金以外の年金所得のある人
 - ⑤ 生命保険の満期返戻金などの一時的な収入のある人
 - ⑥ 土地や建物をお売りになった人
 - ⑦ 医療費控除などの各種控除を受ける人
- ※青色申告者や税務署で確定申告をする人は、役場で申告する必要はありません。

申告に必要なもの

- ① 案内はがき
 - ② 印鑑
 - ③ 所得税の確定申告書用紙(税務署から郵送されたものがある場合)
 - ④ 給与や公的年金等の源泉徴収票
 - ⑤ 事業を営んでいる人は収支計算書と収入及び経費のわかるもの(帳簿・領収書等)
- ※前年申告の収支内訳書を参考に、事前にまとめてきてください。

⑥ 農業を営んでいる人は、収支計算書と米穀や各種野菜の出荷証明書または入庫伝票等、農業用機械の修理の領収書やその他経費の領収書、各種制度資金を借りている人は、平成23年中に返済した利息の領収書等

※前年申告の収支内訳書を参考に、事前にまとめてきてください。

⑦ 平成23年中に支払った各種保険料(国民健康保険税、国民年金保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料、生命保険料、地震保険料など)の領収書や控除証明書

⑧ 医療費控除を受ける人は前年中に支払った領収書等

※事前に人ごと、医療機関ごとに集計してきてください。

⑨ 所得税の還付や振替納税を行う場合は金融機関の口座番号とその印鑑

農業申告される方へ

「農業申告の手引き」を
ご活用ください

税務課と支所庶務課窓口にて、簡単に農業収支計算のできる「農業申告の手引き」を備付けしてあります。この手引きを利用し、事前に収支計算しておくことにより、スムーズに申告手続きを終えることができます。

いぶき

広々としたスタジオでの運動及びレッスン・各種マシン完備！メタボリック対策として個別メニューを作成し、生活習慣病の改善を医師・運動指導士・栄養士がバックアップいたします。介護予防教室もあります。見学大歓迎！

営業時間 (平日・土) AM9:00～PM9:00 (日曜) AM9:00～PM5:00

七戸町道の上63-3 電話 0176(69)1061

七戸町

しちのへで探す！

土地 建物 アパート 貸家
宅地や農地の価格調べ&空家の管理

リアルエステ三輪

場所 薬王堂七戸店様すぐそば
電話 62-6113

《真心でご奉仕》

花輪・生花・盛簗・引出物
ご葬儀一式

☎ 62-2141
(24時間受付)

(株)七戸タクシー 葬儀部
七戸町字町7-3

障害者控除等のお知らせ

申告の際、納税者や控除対象配偶者、扶養親族の身体障害者手帳または、愛護（療育）手帳等をご持参の場合、障害者控除を受けることができます。このほか、次に当てはまる人は「障害者控除対象者承認書」を添付することにより、障害者控除を受けることができます。

【介護保険の要介護認定者（要介護1～要介護5）で前年12月31日現在、寝たきり度が高く、または、認知度が重く町が障害者として承認した方】
全ての要介護認定者が対象となるわけではありませんが、障害者控除対象者認定書の交付を希望される方は、健康福祉課（☎68-3500）までご連絡ください。

税務署申告を おすすめします

税務署では、申告納税制度の趣旨から、確定申告書等の『自書申告』を推進しています。
十和田税務署でも、ご自分で簡単に申告書を作成できる体制を採っています。住宅借入金等特別控除を新規に適用する場合や、医療費控除などで還付申告する人は、還付金の振込みが早いほか、例年税務署内の申告会

場が空いていることが多く、スムーズに申告を済ませることができることから、税務署での申告をおすすめしています。
そのほか、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に沿って

金額等を入力することにより、所得税の申告書が自動計算で作成でき、印刷すればそのまま税務署に提出することができます。
また、作成したデータは、e-Tax送信用のデータとして利用することができます。是非

ご利用ください。
なお、ご自分で作成した申告書などは、お早めに税務署へ提出してください。
○問合せ先
税務課 ☎68-2113
十和田税務署 ☎23-3151

平成23年分 申告相談日程表

月	日	曜日	七戸地区	天間林区
2月	9日	木	城内	
	10日	金	城内	上原子1、上原子2、原子、農場、向原子
	13日	月	城内、新町	白石、栗ノ木沢、白金、尾山頭、金沢
	14日	火	新町、大池、荒熊内、大沢	柳平、後平、馬込、蒼前1、蒼前2、坪1
	15日	水	大池、荒熊内、大沢、上町	曙、金木、黄金、大沢、坪2、坪3
	16日	木	上町、荒中見	小又、旭、森ノ上
	17日	金	荒中見、川去、横長根	森ノ上
	20日	月	川去、横長根、上川向	道ノ上
	21日	火	上川向、下川向	道ノ上
	22日	水	下川向	夏間木1、夏間木2、松ヶ沢、十枝内1、十枝内2、底田、市ノ渡、町1、町2
	23日	木	下川向、倉岡川目	手代森、諏訪、向中野、原久保、鳥谷部
	24日	金	倉岡川目、上川目	鳥谷部、栄、中野
	27日	月	上川目、野沼寺	長下、十字路
	28日	火	野沼寺、東大町	森中、天間2、中嶋、天間4
3月	29日	水	東大町、蒼前	天間1、天間3、寺沢、桜木
	1日	木	蒼前、館野	一本木、石沢、舟場向
	2日	金	館野	上野崎、花松、長沢、狐久保、
	5日	月	館野、柏葉町	下野崎、中岫
	6日	火	柏葉町	榎林1
	7日	水	柏葉町、作田川目、牧場	附田、榎林3
	8日	木	向町	榎林2、昭和
	9日	金	川原町、南浦、横町	二ツ森
	12日	月	横町、下町、袋町、小川町	貝塚、李沢
	13日	火	小川町、新川原	甲田
	14日	水	道地川目	ききょう団地、けやき団地
	15日	木	道地川目	千鳥住宅、中野団地、長下団地、協和住宅

JAゆき青森グループ
グリーン・ジ・アース株式会社

Green The Earth ～緑の大地～
にんにく・長芋・大根・馬鈴薯など買取り致します！
お気軽にご相談下さい！

〒039-2827
青森県上北郡七戸町字森ノ上198
TEL:0176-69-1988 FAX:0176-68-3630
☎0120-014229
HP <http://gte.serio.jp>



急募 従業員募集

1・2級土木施行管理技士
土木一般作業員・軌道工事作業員
(大型・大特・車輜系等資格者歓迎)

株式会社 升澤組

野辺地町字鳥井 30-1/Tel.0175(64)3509 担当 太田

セピアの灯がともる
ランプの宿
池の端温泉郷

3,800円

5,000円

上北郡東北町 ☎0176-56-3680

除排雪体制にご協力をお願いします

雪国に住むわたしたちにとっては、雪とどのように向き合い暮らしていくかが重要です。冬の安全な交通の確保を目指し、除排雪を効果的・効率的に行うため町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◎除雪車の出動時間

担当職員がパトロールで確認し、15センチメートル以上の降雪があれば、午前1時頃に出動の指示をします。除雪作業は午前2時頃から開始し、朝7時30分頃までに終了するように行っています。しかし、天候や路上駐車など、道路の状態で作業が遅れる場合がありますのでご理解ください。また、朝方からの急な降雪により、通勤通学の時間帯と重なり、出動時間をずらすことがありますのでご理解をお願いします。



◎早く安全に除雪作業を行うためのお願い

◆家の前の除雪

除雪作業は、限られた時間で広範囲を行うため、積もった雪をかき分けることはできますが、取り除くことはできません。除雪した雪が皆さんの家の出入り口をふさいでしまうことがあります。わざと雪を置いていくわけではありませので、玄関前などは各家庭での除雪をお願いします。

◆宅地の雪を道路に捨てないでください

宅地の雪を道路に押し出すと車道が狭くなり、道路が蛇行する原因となりますので道路には絶対に押し出さないでください。

◆路上駐車はやめましょう

路上に止めてある車両は除雪の障害になるばかりでなく、救急車や消防車などの緊急車両も通ることができなくなるので、絶対にやめましょう。

◆踏み板、敷き鉄板は撤去してください

道路から宅地へ車を乗り入れるための踏み板、鉄板は除雪の邪魔になるばかりでなく、除雪車の故障の原因にもなりますので、冬期間は撤去しましょう。

◆道路にはみ出している樹木・枝は切ってください

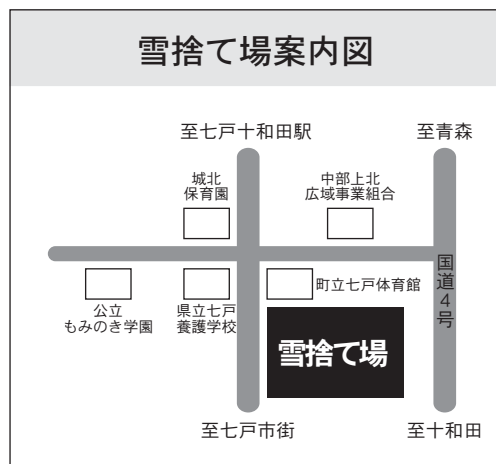
道路にはみ出している樹木や枝は、除雪の障害となりますので、所有地（特に道路に面している山林）をもう一度確認して、枝打ちや伐採をお願いします。

◎雪捨て場のご案内

家庭や事業所の雪を捨てる場合には、注意事項を守り、下記雪捨て場をご利用ください。

- ◆場 所 七戸町蛇坂地区（七戸町立体育館南側）
- ◆開設期間 平成24年1月4日（水）～平成24年3月31日（土）
時間 午前9時～午後4時
- ◆注意事項
 - ①他市町村からの持ち込みはしない。
 - ②指定場所以外には捨てない。
 - ③ごみや砂利などは捨てない。
 - ④雪捨て場内での利用者の事故やトラブルには一切責任を負いません。
 - ⑤許容量を超えた場合には、閉鎖することもあります。

雪捨て場案内図



○問合せ先 建設課 ☎62-6244 FAX62-6245

平成24年度 保育園入園児募集

【対象児童】

共働き(外勤、内勤、自営業、農業)、病気、出産、同居親族を常時介護しているなどの理由で、家庭で保育できない児童。ただし、平成23年度に入所している児童で、来年度も継続する場合は申込書の提出は必要ありません。

【受付期間】平成24年1月4日(水)～1月31日(火)まで

【町内の保育園】

保育園名	所在地	電話番号	保育時間
城南保育園	天神林19-2	62-3095	7時～19時
城北保育園	蛇坂57-57	62-2090	7時～19時
明照保育園	町7	62-3223	7時～19時
道ノ上保育園	森ヶ沢280-1	68-2047	7時～19時
榎林保育園	榎林家ノ前40-1	68-2042	7時～19時
天間みどり保育園	舟場向川久保5-95	68-2142	7時～19時
平成23年度 保育料	3歳未満児最高額 32,000円 3歳以上児最高額 29,000円 前年分の所得税、前年度の住民税により算定		
施設見学	いつでも各保育園の施設見学はできます。		

【申込書類】

- ①入園申込書
- ②家庭状況調査書
- ③父・母の雇用証明書
(自営業・農業従事者は、
地区の民生委員の証明書、
病気・出産の場合はそれ
ぞれ証明できるもの)

【申込方法】

申込書類は、各保育園、社会生活課、七戸庁舎庶務課にありますので、記入・押印のうえ、社会生活課または七戸庁舎庶務課へ提出してください。入所決定については2月中に通知します。

○問合せ先 社会生活課 ☎68-2114

国民年金からのお知らせ

20歳になったら国民年金

国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、国民年金の保険料を納めることになります。

収入等がなく保険料の支払いが困難な場合は「学生納付特例制度」(学生のみ)、「若年者納付猶予制度」(30歳未満)などの保険料免除制度があります。

国民年金(基礎年金)3つのメリット

- ① 老後を支えます(老齢基礎年金)
- ② 病気やけがで障害の状態になったときに支えます(障害基礎年金)
- ③ 加入者が亡くなったとき、子のある配偶者、子を支えます(遺族基礎年金)

世代と世代の支え合いの仲間入り

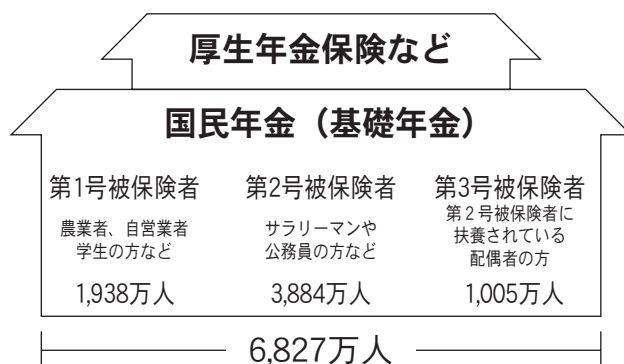
公的年金制度は、現役世代が納める保険料で高齢者の方の年金を負担するという「世代と世代の支え合い」が基本です。

公的年金は2階建て

日本の公的年金制度は、2階建て構造になっています。

公的年金制度の仕組み(平成22年度末)

2階建て構造



※20歳になった時の国民年金の手続きについては市(区)町村または、年金事務所までお問合せください。

1月の移動年金相談日 1月25日(水) 柏葉館 午前10時30分から午後3時

年金相談は完全予約制になっています。予約を忘れずに。

○予約及び問合せ先

青森年金事務所 ☎017-734-7498 町民課 ☎68-2115 庶務課 ☎62-2111

平成23年度 町政座談会が開催されました

「平成23年度町政座談会」が11月7日～18日まで、町内8会場で開催されました。

各会場では小又町長が町政全般にわたる重要施策を述べた後、参加した町民の皆さんと意見交換を行いました。

1月号では、前半4会場での座談会の内容を紹介します。なお、掲載につきましては要点のみとしております。（Qは質問・要望、Aは回答）

Q

&

A

〔上川目〕

生活改善センター

Q 八尺堂地区の道路の舗装を以前お願いしたが、どのようになっているか？

A 他の地区と併せて県に補助を要望している。平成25年度を目途に取りかかれるように計画している。

Q 農道に敷く碎石の大きさは40ミリのものとしているのだが、用途に合わせた大きさを選択できないか？

A 今後用途にあった碎石を配布するように努める。

Q コミュニティバスの本数が少ないようだが、他の地区からも増便の要望など無いのか？

A 9月から時刻表を改正し、行き1本帰り2本に増便した。現在のバスの台数ではこれ以上の増便は難しい。

Q 和田地区の十字路の工事の進み具合は？

A 県に確認したところ、県では用地単価について評価結果ができただい個々に用地交渉を進めるとのこと。ヤマザクラの植樹を行っているので、何か補助があれば教えて欲しい。

A 良い情報があれば提供していきたい。

Q イオン付近の国道沿いののり面にヤマザクラを植えることはできないか？

いか？

A 国の土地なので、現在国土交通省十和田維持出張所に相談している。

Q 前に生活改善センターとして使っていた建物が古くなってしまったのだが、建て直すことはできないか？

A 建て直すのは難しいが、補修するのであれば補助することは可能。

Q 生活改善センターの入口が木によって風通しが悪く、冬にはアイスバーンになるが、木を切っても良いか？

A 希望に沿える形で協議していきたい。

Q スズメバチの駆除に関して、町では積極的に駆除する考えはないのか？

A 土地の所有者に、蜂の巣の駆除をしてもらうこととしている。自分でできない場合は業者を紹介している。なので、相談して欲しい。

Q 394号線に七戸町の西の玄関口であるという看板を設置できないか？

A 新幹線開業に際して一通り町中の看板整備は終了したので、今後事業を見つけて整備していきたい。

Q 自然エネルギーについて町ではどのような取り組みをしているのか？

A 水力発電や太陽光発電など、取り組めるものを探していきたい。

Q 和田川の雑木を伐採してもらったが、河川公園が荒れた状態だ。今後整備当時の状態に戻さないのか？

A 県に要望する。

Q 農地・水保事業で県補助分について執行を停止されているが、なんとかならないか？

A

A

A

A

県に問い合わせる。

Q 花の苗をこれからもらえるか？

A 来年度も予算要求する予定だが、本数は減るかもしれない。

〔作田川目〕

生活改善センター

Q 生活改善センターの水道管が錆びて濁った水が出るので改善して欲しい。

A 長期間使用していないと濁った水が出ることもあるが、しばらく出せば直るので使用するときは気を付けて欲しい。

Q 作田から鍛冶林までの道路両側から木の枝が伸び、通行の妨げになっているので土地所有者に話して欲しい。

A 道路敷地については建設課で対応する。道路敷地以外は地権者に連絡する。広報で自分の土地は自分で管理してもらうよう周知する。

Q 作田の道路脇の側溝から、雨水が溢れて自分の土地に流れて来て崩れてくるので、なんとかしてもらいたい。

A 状況を調べて対応する。

Q 生活改善センターのテレビや冷蔵庫が使えなくなっているの、新しいものを買って欲しい。

A 町内会に対応してもらっている。他の町内会も町内会に対応しているのをご理解いただきたい。

Q 農産物加工場の建設に助成があるという話をきいたが、助成してもらえるのか？

A

A

A

A

Q 6次産業化にむけての経費の助成を行っているが、建物については現在行っていない。国や県の補助を使えるようにしたい。

A 道の駅の産直から返品が多く、経営に響いている。

Q 悪い物しか返品していないと思うが、できるだけ返品しないように努力するよう指導する。

Q 394号線の地滑りした道路の対応は？

A 現在、県と同時に対応している。作田の急傾斜地の下の側溝がプラスチック製のため増水時に浮き上がってくる。コンクリートのものに換えてもらえないか？家の裏が急傾斜地に指定されているので改修してもらいたい。

A 県に24年度要望を行った。急傾斜対策事業を実施することで解消できると思う。県から町負担の予算措置を行うようお願いされている。



中央公民館

Q 七彩館に出荷している野菜が、夏場に傷みやよくなってしまうので、夜通し冷房を入れて欲しい。

A 物産協会に改善するよう話します。

Q 川からの取水口が良くなり、大雨の際に止水できない。水門を作れないか？

A 県に要望してみよう。

Q 宇道坂―鍛冶林線(配水池付近)の道路の舗装が壊れているのでなんとかして欲しい。

A 今後、年次計画を立てて整備する予定。

Q 分館の入口やトイレに段差があつて入りづらいのでスロープを付けて欲しい。

A 分館を調査し、前向きに検討する。

Q 町のイベントの日程はどのようにして決めているのか？今年の夏まつりの日程はどうやって決めたのか？

A 各実行委員会が話し合つて決めている。

Q 夏まつりの開催日が、例年8月16日だったのに今年は14日だったので、仏拝み等があつて参加できなかった人も多かったようだが来場者数はどうだったのか？

A 実行委員会が話し合つたが、反対意見は出なかった。来場者数は昨年と同じくらいだった。

Q 長下地区の下水道工事はいつこ

ろやる計画になっているか？

A 来年度以降の着工になると思う。

Q 下水道の本管が通ったときにマスの数によって繋がないといけないと言つていた人がいたが、どうなのか？

A 供用開始告示後、法律上3年以内に接続しなければならない。加入奨励金も出している。早くに接続してもらいたい。また、農地や空き地等に住宅建設を見込んで公共マスを設置している方がいるが、住宅を建てるまでは接続する必要はない。

Q 旧七戸町での「ねがいかなう絵馬の町」のキャッチフレーズは現在も生きているか？

A 合併後、正式には使っていないが、商工会青年部や公立大の学生と絵馬を使った町づくりを行っている。

Q 絵馬を売り出しているのであれば、絵馬の看板やモニメントを作つて駅前スペースやイベント広場に掲げてはどうか？

A 「七戸といえば絵馬」という売りになると思うので、検討していきたい。

Q 減農薬米のみよこ米に塩を使つてミネラルを含んだ米にしてみたいが、分析調査に費用がかかるので補助してもらえないか？

A 成分の分析検査項目等を調査し、農協と協力して取り組めるように検討を進める。

Q 役場に寄附した土地を隣地の人で使用している。物を撤去してもらいたい。

A 関係者に、再度指導する。

Q 天間ダムの水を活用して、水力

発電を作れないか？

A 県の管轄となつており、問い合わせたところ採算性から建設は難しいと思う。ただ、震災の影響から今後、発電方法の一つとして検討される可能性はある。

Q 長期総合計画に対し、町ではどのような姿勢で取り組んでいるか？

A 町民が豊かで住み良い町にするために、さまざまな計画をしている。国の政策に遅れを取らないようにやつていきたい。



榎林地区農産物加工施設

Q 東北町の役場前には放射線のモニタリングポストがあるが、七戸の役場には導入しないのか？

A 要望を行っている。六ヶ所村の

原燃施設からは30km圏内に入っている。見直し・検討を求めている。

Q 原燃の事故評価報告書について、町の理解が足りないと思う。県や国任せにしないためにも勉強して欲しい。

A 民間に委託して農作物や家庭などの放射線検査を行った。町としてできる範囲で努力している。

Q 土木作業や工事での事故対策指導はどうなっているか？手順表はもつっているか？

A 工事の受注業者から施工計画書を提出してもらつていて、ある程度は業者の責任施工のところがあつて業者が任せている。

Q 子どもの人数が減つているが、学校の統合は考えているか？

A 小学校については現在のままの予定だが、中学校は意向調査等をして検討し、他町村での状況や地域の意見も参考にして慎重に考えていきたい。

Q 学校を統合すると学区が広がるのでスクールバスの運行経費が多くなつてしまつてはいないか？

A 学校を運営するための費用に比べれば、バスの方が費用はかららない。

Q 新幹線開業から1年が経つが、道の駅の状況は？

A 売上が2割程度増加し、経営状態はよくなつていて聞いています。駅前にはイオンができてから相乗効果で利用者が増えているようだ。

Q 上北道路が出来るので、大きなショッピングモールなど複合施設を

誘致して欲しい。

A さまざまな機会に要望していきたい。

Q ホテルが十和田にばかりできて駅前にはできないのはなぜか？

A リーマンショック前まではいくつか打診があつたがその後無くなつた。最近また話が出ています。

Q 山車展示館を有効活用した方がいいと思う。展示館横の作業スペースを見せることはできないか？

A 作業スペースは町内会のものでなつていて、来々向けての準備などがあるので、まつり期間が終わると片付けているため、一般客に開放するのは難しい。

Q イオンに人が集まるので、山車展示館をイベントスペースとして貸し出すことはできないか？

A 国の補助をいたたい整備している。目的外使用にならない範囲で利活用を検討したい。

Q 被災地への人的派遣は行ったか？行ったのであれば、その経験を防災計画に活かして欲しい。

A 岩手県宮古市と宮城県亘理町へ3名ずつ派遣した。被災地を生で見てきた経験を活かして防災計画を見直していきたい。

Q 下水道事業は採算が取れないと思うが、加入率を上げるための方法はあるか？

A 3年以内に加入すると奨励金がある。道の駅の商品の値段が上がつたという印象がある。

A 市場調査をし、対応する。

保健だよ

健康福祉課 ☎ 68-4631

◎ 廿優

寿美花代さんが講演

うつ病の夫の介護体験

「前向きに、明るく！」

こころの健康づくり講演会が青森県自殺対策緊急強化事業費の補助により11月27日(日)中央公民館で開催され、町内外より約160人が参加しました。

寿美さんは、「家族で克服した夫の病」と題し、夫の高島忠夫氏を介護した経験を話されました。

寿美さんは、「ふさぎこんでいたり、うつの症状がでているな、と気になる時は、ちゅうちよせずに専門の先生(心療内科)に行くのが良い」と話され「今はうつと言いやすくなったが、当時はこっそりと病院へいつていた」等の苦労も話されました。夫がうつ病になったことは、「心当たりはなく、(うつ病はまじめな人がなりやすいと言われるが)みんなまじめだと思っし、たまにたまったと思う」と誰でもなる可能性のある病気であると述



ユーモアを交えながら講演する寿美花代さん

べ、夫の介護を義務ではなく『夫を守る任務』ととらえ笑顔で接するようにし、夫の好きな歌謡曲をかけたたり、幼なじみに電話をかけてもらいうよう頼んだりし夫を支えた話をされました。介護者としては、一日中座りっぱなしだった夫を見ると自分も気持ち沈みこんでしまいそうになり、洗面所でお湯に手をつけて温泉に入った様に考えたり、空を見て『なんとかなる』と思いい気分を変えるようにしたこと、それから介護体験を通し

口がすぼんでしまうのでいわないでね!」など、たっぷりのユーモアを交え会場が笑いに包まれた講演会となりました。会場からの質問には「介護を頑張るのは9分目まで。全部がらんと相手を手をうらみなくなるから」と話し、介護者も好きな事をして楽しむ事、趣味を持つ事の大切さをアドバイスしました。

参加者からは、「明るく生活することが大切という話がよかった」「気分切り替え、自分の時間を持つことが気持ちに残った」等の感想がきかれ、講師のお話から元気をもらったようでした。

◎ 平成23年度女性特有のがん(乳がん・子宮頸がん)検診無料クーポン券の利用について

国の施策によるがん検診推進事業において、乳がん検診及び子宮頸がん検診の無料クーポン券を、年齢対象者へ郵送しています。

年齢対象者は、平成22年4月2日から平成23年4月1日までの間に、子宮頸がん検診については20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、乳がん検診については、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になられた方を対象としています。

無料クーポン券が郵送された方で、受診されていない方は、お早めに受診くださるようお願いいたします。

受診方法など、ご不明な点は、健康福祉課までお問合せください。

◎ 無料クーポン券有効期限

乳がん検診

子宮頸がん検診

平成24年3月9日(金)

◎ 献血のお知らせ

献血は、健康であれば最も身近にできるボランティアです。より多くの方のご協力をお願いします。

日時 平成24年1月14日(土)
午前10時～正午
午後1時15分～4時30分
場所 イオン七戸十和田駅前店



◎ パパ・ママスクールのお知らせ

対象 町に住所を有する妊婦ならびにその夫
日時 平成24年1月12日(木) 午後6時～8時30分
受付時間 午後5時45分～6時
場所 天間林保健センター
内容 沐浴実習、お父さんの妊婦体験、赤ちゃんの心臓の音を聴いてみよう、妊娠中の栄養(夕食試食提供)

*参加には事前の予約が必要です。



上十三保健所健康相談等日程

*利用される方は受付時間を厳守してください。
また、なるべく事前に予約をしてご利用ください。

〈場 所〉 上十三保健所 〈問合せ〉 ☎23-4261

月 日	種 別	受 付 時 間	対 象 等
1. 10(火) 1. 24(火)	H I V(エイズ) に関する相談結	13:00~14:00	一般県民
1. 10(火) 1. 24(火)	B型及びC型 肝炎検査(有料)	(告 知) 11:00~12:00	一般県民
1. 17(火)	女性健康相談	10:00~10:30	思春期から更年期に 至る女性
1. 25(水)	精神保健福祉相談	13:00~14:00	精神・神経・飲酒等の 相談
1. 24(火)	骨髄バンク 登録相談	9:00~10:00	骨髄バンク登録希望 者
1. 25(水)	療育相談	継続 9:30~10:30 新規 10:30~11:00	発達が気になる児童

*一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。
* HIV(エイズ)、B型およびC型肝炎検査、骨髄バンク、精神保健関係のご相談はなるべく予約をしてご利用ください。

子どもの虐待は早期発見を！

子どもの虐待は「家庭」という外から見えにくい場所で起こり、被害者である子どもが助けを自ら求めることは難しいので、中々気づきにくいものです。

しかし、なるべく虐待が深刻になる前に子育ての問題を抱える家庭を支援したり、虐待が起こっている場合でも早めに子どもを保護することが大切です。

早めに、発見し対応すれば、虐待の深刻化も防げますし、子どもの心と体の傷の浅いうちに保護することが可能になります。

- ・ 子どもの泣き声が絶えない
- ・ 服装がいつも汚れている
- ・ 保護者がいつもイライラして子どもに接している

虐待かな？と思ったら下記へ連絡してください。

○社会生活課 ☎68-2114

○児童相談所全国共通ダイヤル

☎0570-064-000(全国どこからでも、お住まいの地域の児童相談所に電話をおつなぎします。)

謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます。



東奥アドシステム

〒034-0082 十和田市西二番町7-2(東奥日報社十和田支局1階)

TEL (0176) 22-0888
FAX (0176) 22-0919

新着図書情報

■1月の休館日…1～3日(年末年始)、9日(月)、26日(木)

■問合せ先…中央図書館 ☎62-2119
中央公民館図書室 ☎68-2920

お知らせ 1月中、両館では「新成人におすすめする本」の展示を行っています。どうぞご利用ください。

【中央図書館】

No.	書名	著者名
1	スウィート・ヒアアフター	よしもとばなな
2	外事警察-CODE: ジャスミン-	麻生 幾
3	スティーブ・ジョブズ 1・2	ウォルター・アイザックソン(著) 井口 耕二(訳)
4	北前船「みちのく丸」日本海を往く -日本海文化交流事業写真集	東奥日報社
5	新・墮落論 我欲と天罰(新潮新書)	石原 慎太郎
6	揺れるいのち -赤ちゃんポストからのメッセージ-	熊本日日新聞 「ここのとりのゆりかご」取材班
7	はげまして はげまされて -93歳正造いちゃん56年間のまんが絵日記	竹浪 正造
8	手編みのあったか小物	N H K 出版 (編)
9	ターシャのかずのほん -1は いち-	ターシャ・テューダー(著) ないとうりえこ(訳)
10	へんなかお	大森 裕子
等 一般書 30冊 児童書 15冊 (11/11～12/10 登録(購入分))		

【中央公民館図書室】

No.	書名	著者名
1	池上彰の宗教がわかれば 世界が見える	池上 彰
2	いのちのことば -心の道しるべ137言-	佐藤 初女
3	前世 -人生を変える-	江原 啓之
4	「福」に憑かれた男 -人生を豊かに変える3つの習慣-	喜多川 泰
5	宇宙銀行 -徳を積み立てると幸運が引き出せる-	植西 總
6	「朝4時起き」で すべてがうまく回りだす!	池田 千恵
7	傷みにくいお弁当&作りおきおかず -衛生対策がわかる-	武蔵 裕子
8	せかいのブタばんざい! (児)	大海 赫
9	あるひこねこね (絵本)	高畠 邦生
10	さつまのおいも (絵本)	中川ひろたか(文) 村上康生(絵)
等 一般書 18冊 児童書 33冊 (11/9～12/5 登録(寄贈・購入分))		

文芸欄

《俳句》

縄文の里の賑はひ柿たわわ

小林凡石

底なしの寒さ身に沁む訃報かな

福田露幸

短日やポンと弾けるコルク栓

川村亜輝子

子と遊ぶ種も尽きたる冬至の夜

高田美津子

通院の足も急かるる冬至かな

駒ヶ嶺峯

縁側に南瓜ごろりと冬至待つ

和田馴二

冬至粥すすりて我は長寿なり

田中愛

《川柳》「奪う」

花活ける拳措の鉄が耳奪う

正十四

震災地略奪行為腹が立つ

征治

愛犬に癒され心奪われる

俊

形見分け争奪戦に目を背け

風貴

《短歌》

七戸群青短歌会

茜色薄く残れる空高く

岩木嶺聳ゆ影絵の如く

福士孝衛

ひとつ事に没頭できる仕合せに

ふと気づき見る空の明るさ

大串靖子

秋空を彩る柿の実のあまた

点々とあり灯火のように

宮沢崇子

秋日の西日背にして豆を剥く

八十路すぎたる叔母の陰長く

内山涼子

天間林短歌会

木漏れ日を浴びつつしのぶ境内に

詩吟の流れてけふ哀因忌

佐藤悠一

姉と慕ひ遊び笑ひし君からの

喪中はがきを涙ぐみて読む

原信子

集ひ会ひ顔のほころぶ哀因忌

われも偲べり碑に寄り添ひて

吟崎アイ子

満月の近くにて星ひとつ冴ゆ

少しおくれるしあわせのごと

高田洋子

身近なことから
学ぶ楽しさを発見!!

七戸町小学生学習発表会

七戸町教育委員会（倉本貢教育長）は12月2日、天間林体育館で七戸町小学生学習発表会を開催しました。

この発表会は、子どもたちが表現する楽しさを味わいながら、今後の学習や生活に興味を持ってもらおうと平成22年度から始まったもの。

町内4小学校の児童代表136人が参加し、総合的な学習の時間や社会科の授業で学習したことの結果を発表し、感想や意見を述べ合いながら交流を深めました。

天間西小の5年生は、「アピオスを栽培しよう」と題し、町の特産品で、日本一の生産量を誇るアピオスについて発表。アピオスの生長過程や調理方法、栄養満点のアピオスを全国にPRするために、自分たちで作ったCMソングを振り付きで披露しました。

このほか、天間東小5年生が縄文土器づくり、城南小4年生が城南小50年のあゆみ、七戸小6年生が八甲田太鼓の演奏について、それぞれ学習の成果を発表しました。



今、話題沸騰!ものまね界の新星現る!

荒牧 陽子

第15回 爆笑オールスターものまね王座決定戦 優勝!

亘 哲平

ものまねディナーショー

2/20

2012 MON
ディナー 18:30 | ショー 19:30

【会場】 富士屋グランドホール
〒034-0012 青森県十和田市東一帯町2番28号
TEL.0176-23-1000 71-7111 0800-800-1131

チケット **¥12,000**
【全席指定】
ショー・ディナー・ドリンク・税金・サービス料込

★ 特別宿泊プラン (シングル) **¥3,980**
【朝食付き】 (ツイン) **¥7,960**

ご予約・お問い合わせは

十和田富士屋ホテル
TEL.0176-22-7111
〒034-0031 青森県十和田市東三番町1番6号
<http://www.towadafujiya.com/>

お知らせ

七戸町文化賞・スポーツ顕賞
候補者の推薦について

文化賞

生涯学習課 ☎ 6219702

スポーツ顕賞

スポーツ振興課 ☎ 6219706

今年度文化・スポーツで活躍さ

れた方で、一般・大学生について
次の規定に該当される方々があり
ましたら、推薦ください。なお、
県内外の高校・町文化協会、町体
育協会等には推薦依頼をしており
ます。

《表彰規定》

☆文化賞（芸術・学術）

文化賞

全国規模の展覧会、発表会等で
特に顕著な業績を示したもの

文化功労賞

永年にわたり文化の向上発展に
貢献したもの

文化奨励賞

文化の向上発展に貢献したもの

☆スポーツ顕賞

スポーツ功労賞

スポーツの普及振興につくした
もの

スポーツ賞・スポーツ優秀賞

競技スポーツの分野で優秀な成
績を修めたもの

生涯スポーツ奨励賞

生涯スポーツの分野で優秀な成
績を修めたもの
推薦期限 1月13日(金)

青森県特定(産業別)最低
賃金が改正されました

青森労働局労働基準部賃金室

☎ 017173414114

産業別最低賃金(時間額)

1、鉄鋼業	770円
2、電子部品・デバイス・電子回 路、電気機械器具、情報通信 機械器具製造業	705円
3、各種商品小売業	698円
4、自動車小売業	736円
効力発生日 平成23年12月21日	

詳しくは、青森労働局ホームペ
ージ (<http://aomori-roudou-kyokujisiteimhlw.go.jp/>) から
もご覧になれます。

不動産取得税の軽減制度と
コンビニ納税について

上北地域県民局県税部 課税課

☎ 2218111

■不動産取得税とは…

不動産取得税とは、家屋を新築・
増改築したとき、土地や家屋を売
買、贈与などで取得したときに一
度だけ課税される県の税金です。
取得した方に納税通知書が送付さ
れますので、納期限までに納付し
てください。

■軽減制度のご案内

①土地を取得して住宅を新築し
たり、建売住宅とその敷地を購入
した場合、②自己居住用中古住宅
を取得した場合、③公共事業のた
めに不動産を譲り渡し、それに代
わる不動産を一定期間内に取得し
た場合には、軽減制度を受けられ
ることがあります。

■コンビニ収納がはまりました！

平成23年12月から不動産取得税
を全国のコンビニで納付すること
ができるようになりました。それ
に伴い納税通知書の様式も変更に
なりましたので、お知らせします。
詳しくは、地域県民局県税部ま
でお問い合わせください。

e-Tax(パソコン申告)体験会

十和田税務署個人課税第一部門 ☎23-3151

e-Taxの利便性を体験すると共に、税務署が混雑する前に確
定申告を済ませることができます。

1. e-Tax(パソコン申告)体験会

日 時 1月31日(火)午後1時30分～

場 所 七戸町ITサポートセンター
(七戸中央公民館 1階集会室)

持ち物

- ①役場で発行を受けた電子証明書が付された住基カード※
- ②平成23年分の給与や公的年金等の源泉徴収票。それ以外
の収入がある場合には支払調書などの収入金額が分かる書
類
- ③国民健康保険税、介護保険料、国民年金保険および社会保
険料の領収証等、社会保険料控除の金額(平成23年中の
掛け金額)が分かる書類
- ④生命保険料控除証明書、地震保険料控除証明書、そのほか、
寄付金や医療費のある方はそれらの領収証など所得控除額
が分かる書類
※医療費の金額は事前に集計しておいてください。
- ⑤金融機関の預貯金の口座番号が分かるもの(申告者本人の
名義の口座に限りです)

※電子証明書(住基カード)を事前に取得することにより、最
大4000円の税額控除を受けることができます。(住基カードは、
役場町民課窓口で取得できます)。

※出席をご希望の方は、十和田税務署へ事前予約の連絡をお願
いします。

2. 年金所得者の方のためのe-Tax(パソコン申告)体験会

日 時 2月1日(水)～10日(金)

午前9時30分～午後4時(土曜・日曜を除く)

場 所 十和田税務署(十和田奥入瀬合同庁舎1階共用会議室)

持ち物 1. e-Tax(パソコン申告)体験会の②～⑤の書類を
持参ください。

毎度お引き立ていただきありがとうございます。

番屋会館

十和田市東二十三番町13-5

TEL 0176-23-1506 FAX 0176-22-2314

セピアの灯がともる

ランブ温泉
池の端温泉郷

各種印刷・DTP

ハウブンシャ
朋文社

〒039-2513 七戸町字東槻木25

☎ 62-2909 FAX 62-4434

『快適空間づくり』のご提案

造園土木工事一式・剪定・薬剤散布・ガーデンリフォーム
エクステリア・樹木・芝生・枕木他資材販売ever
green

株式会社 エバーグリーン

〒039-2812 青森県上北郡七戸町字小田下21-2

Tel / 0176-68-3358 FAX / 0176-68-3294

<http://www.ever-g4968.com>

**林業退職金共済制度
(林退共)からのお知らせ**

独立行政法人勤労者退職金共済機構

林業退職金共済事業本部

03-1540014334

林業の仕事をしていたことがありませんか？

林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前、林業の仕事をしていたが、ご自身が林退共へ加入していたか分からない方についてもお調べします。

また、罹災された共済契約者及び被共済者の皆さまに対し、各種手続（共済手帳の紛失、退職金の請求等）の必要が生じた場合は、でさうる限りの範囲において速やかに対応したいと考えておりますので、最寄りの支部または本部へお問い合わせ、ご相談ください。よろしくお願いいたします。

詳しくはホームページ（http://www.rintaikyotaisyokukin.go.jp/）をご覧ください。



募 集

平成23年度「町民スポーツ交流会」綱引き競技参加者募集

スポーツ振興課

6219706

みんなでのしく

一日を過ごしましょう！

日時 1月22日(日)

受付 午前8時～

開会式 午前9時～

場所 天間林体育館

参加資格

町民であれば、どなたでも参加できます

チーム編成(団体戦)

各町内会、分館単位でお願いします。

(その他混成チームでの参加も可能です)

参加区分

◎小中学校の部 8名

小学生 4名

(4年生以上男女問わず)

◎中学生の部 8名

小学生 4名(男女各2名)

◎一般の部 8名

一般男女各4名(高校生以上)

申込方法

申込書はスポーツ振興課にあります。必要事項を記入して提出してください。

申込み切 1月13日(金)

詳しくは、スポーツ振興課へ

お問合せください。

お問合せください。

お問合せください。

お問合せください。

「希望のみやこうた」コンクール2012作品募集

「みやこうた」は「数字と色彩(いろ)の宝庫青森県」を全国にPRするため平成10年に創案された「3・8・5の16音」でうたを作る新文芸で、「住めばみやこ(3・8・5)」の意味が込められています。

七戸町観光客おもてなし事業実行委員会では、東北新幹線開業1周年記念及び東日本大震災の復興を祈願し、「願ひかなう絵馬の町」を広くPRするため、みやこうたを作り楽しむ会と共催で「希望のみやこうた」コンクール2012を開催します。

1. 部 門 「一般・高校の部」「中学生・小学生の部」

2. 題 目 テーマ「希望」 その他「自由句」

3. 点 数 1人2点以内(自作・未発表作品に限ります)

4. 応募切 平成24年1月25日(水)必着

5. 応募方法 作品・住所・氏名・年齢(学校・学年)電話番号を記入し郵便、FAX、またはEメールで応募してください。

6. 応募・問合せ先 七戸町商工観光課内「七戸町観光客おもてなし事業実行委員会」

☎ 51-6100 FAX 51-6101 Eメール kunitaka-tashima@town.shichinohe.lg.jp

※入賞作品の発表は2月10日(金)、七戸町ホームページ、旅の蔵ホームページで行います。

※応募用紙は、七戸町役場本庁舎・七戸庁舎・七戸町観光交流センター・公民館などの公共施設にも置いてありますので、ご利用ください。



Earth Our Home
地球を大切に

株式会社

十和田ビルサービス



〒034-0081
青森県十和田市西十三番町37-9
TEL(0176)23-4982
FAX(0176)22-7171

債務整理サギにご用心!!

☑大手消費者金融へ5年以上返済を続けている。
☑金利が25%前後だった。
上記2項目に該当した方は、過払い金が入ってくるかもしれません。貸金業者が倒産する前に、善は急げまずはお電話ください。

アカシアの森法律事務所

青森県弁護士会所属 弁護士 今井 正

0176 51-4317

十和田市西二番町8-4 (現代美術館駐車場隣り)

I-CREATE

DESIGN & PLANNING

伝えたいを創る。

- 印刷物全般の企画運営
- 各種広告の企画制作
- 編集・出版
- Webプランニング
- イベント企画



株式会社 **アイクリエイティブ**

〒034-0091 青森県十和田市西十一番町32-2
TEL 0176 25 0076 FAX 0176 51 3776

催しなど

七戸町消防団出初式

総務課 ☎ 68-2111

日時 1月15日(日)

午前11時～12時

場所 第1会場(観閲・行進)

町道運動公園線上

第2会場(式典)

天間林体育館

周辺の方々へお願い

午前9時30分から12時頃まで、

交通規制や路上駐車禁止にご理解

とご協力をお願いします。

七戸町文化財
防火・訓練財

総務課 ☎ 68-2111

日時 1月27日(金)

午前9時～9時40分

場所 青岩寺(七戸町字町)

内容 消防団員、消防署員、地

域住民による文化財搬出・

救助・放水訓練等

周辺の方々へお願い

午前8時45分から9時40分頃ま

で、交通規制や路上駐車禁止にご

理解とご協力をお願いします。

七戸町連合婦人会
芸能発表会

七戸中央公民館

☎ 68-2920

日時 1月29日(日)

午前10時から

場所 七戸中央公民館大ホール

入場料 無料

「TPPを考える」
講演会上北地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室 ☎ 23-4281

「TPPって何?」「いったい何

が問題なの?」そんな農家の皆さ

んの疑問にできるだけ分かりやす

く答えます。

日時 1月13日(金)

午後1時30分～4時

場所 十和田市民文化センター

視聴覚ホール

内容 講演「TPPが地域農業に

与える影響」(仮題)

講師 明治大学客員教授

(元朝日新聞論説委員)

参加料 無料

その他 村田 泰夫氏

駐車場を使用する場合には、料

金がかかります。仲間同士での乗

り合いをお勧めします。

公立ぎんなん寮
新春セーラー

公立ぎんなん寮

☎ 56-5121

日時 1月4日(水)～9日(月)

午前9時30分～

午後5時30分

場所 公立ぎんなん寮

(直売所ハンズ、大温室)

販売品 鉢花各種、洋ラン、観葉

植物、ハム、ソーセージ

他

※期間中、ご来店、お持ち帰りの

お客さまに限り、園芸商品20%

割引(友の会会員30%割引)

※日替わり特價商品があります。

くらしの相談窓口

お気軽にご相談ください。相談料は無料《秘密厳守》。

行政・人権相談

(人権問題や悩みごと、行政への要望など)

七戸町 町民課 ☎ 68-2112、庶務課 ☎ 62-2111

日時 1月11日(水)午前9時～12時

場所 七戸町役場 本庁舎 2階第3会議室

七戸庁舎 3階第1・2会議室

相談員 行政相談委員、人権擁護委員

東北町 東北町役場分庁舎福祉課 ☎ 0175-63-2111

日時・場所 1月10日(火)午前10時～12時 東北町役場本庁舎

日時・場所 1月23日(月)午前10時～12時

東北町コミュニティセンター

消費生活相談

(多重債務など消費生活に関すること)

企画財政課 ☎ 68-2940

日時 1月11日(水)午前10時～12時

場所 七戸町役場 本庁舎 1階会議室

相談員 町消費生活相談員

※相談日以外でも電話での相談を受付しています。

平成24年 経済センサスー
活動調査を実施します「経済の国勢調査」です。全国すべての
企業・すべての事業所が対象です。調査
へのご回答をよろしくお願いいたします。調査票は、平成24年1月末日までにお届けしますので、
2月1日以降に提出してください。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

和菓子・洋菓子・内祝い・供物

菓奉
匠撰

みやきん

〒039-2525 青森県上北郡七戸町字七戸329-1
TEL 0176-62-5100(代)
フリーダイヤル0120-31-3263

町の統計

平成23年11月30日現在

男	8,501人	(- 2)
女	9,179人	(+ 8)
計	17,680人	(+ 6)
世帯数	6,870世帯	(- 9)
()内は前月比		

★交通事故

件数	9件 (57件)	<+4>
傷者	11人 (72人)	<+6>
死者	0人 (0人)	<±0>
()内は1月からの累計		
< >内は平成22年同月末比		

★町内の火災

建物	2件 (7件)
林野・その他	0件 (5件)
()内は1月からの累計	

職種・募集人数
看護師2名、管理栄養士1名

●平成24年4月1日採用

職員を募集します

救急外来の受診について
土日・祝日・年末年始は、交代医師1名で救急外来の対応をしています。受診する前に電話連絡をすると事前に病状を把握したり、看護師から症状について助言を受けることができます。できるだけ電話連絡をしてから受診してください。

救急外来の受診について

整形外科外来 1月5日(木)
眼科外来 1月27日(金)

1月の外来休診日

公立七戸病院 ☎ 62-2105

公立七戸病院からの
お知らせ

応募資格

資格のある方、または、平成24年3月末までに資格取得見込みの方(管理栄養士は昭和51年4月2日以降に生まれた方。)

応募書類

履歴書、資格免許の写し

申込締め切り

平成24年1月31日(火)まで

●随時採用(随時面接し決定します)

職種・募集人数

看護師1名(3ヶ月の臨時採用の後、本採用)、看護助手3名(入院患者の入浴・食事・排泄等介助業務。週5日勤務で1日6時間のパート採用。時給800円。)

応募書類

履歴書、看護師は資格免許の写し。

採用後の勤務条件など、詳しくはお問い合わせください。

戸籍の窓口

11月15日～12月15日

◎お誕生

おめでとうございます

子ども

母親 住所

治部袋 楓 智 子 七 戸

手代森 遼 翔 亜 希 子 上 町 野

上 野 楓 愛 美 香 道 ノ 上

篠 田 眺 愛 香 織 長 下 団 地

山 崎 優 心 真 理 子 長 沢

鳴 海 美 音 妙 ニ ツ 森

李 澤 悠 太 小 百 合 李 沢

◎ご結婚
おめでとうございます

天 間 将 史 天 間 2

水 野 か あり 十 和 田 市

免 内 友 博 下 川 向

佐 々 木 由 紀 子 十 和 田 市

●お悔やみ申し上げます

佐々木 美 奈 36歳 貝ノ口

二ツ森	昭 倉 越	61歳
菊 地	わ か 子 倉 越	60歳
瀬 川	喜 代 笹 川 保	79歳
道 地	稔 七 戸	51歳
山 本	松 次 郎 向 田	98歳
坂 谷	は る 上 屋 田	92歳
田 嶋	ふ み ゐ 十 字 路	86歳
大 池	と き ん 影 津 内	88歳
浦 田	吉 助 實 ノ 神	90歳
米 内 山	東 生 天 神 林	66歳
中 野	よ し ん 栗 ノ 木 沢	83歳
小 又	は な ゐ 小 又	74歳
太 田	勝 幸 道 ノ 上	57歳
加 賀	信 男 栄	72歳
附 田	圭 司 天 間 4	80歳
李 沢	た ね 子 向 原 子	86歳
高 田	き く ん 榎 林 3	99歳
築 田	た み ん 桜 木	92歳
中 村	サ ミ 舟 場 向	83歳
坪	幸 作 77歳 坪 3	

「戸籍の窓口」への掲載は、届け出時に掲載を希望された方だけを載せています。また、他市町村に届け出し「広報しちのへ」へ掲載を希望される方は、町民課へご連絡ください。

☎ 68-2112

全世帯配布で広告効果バツグン！

広報

しちのへ

平成24年5月1日号～平成25年4月1日号

新年度広告契約主募集

中途契約・単発掲載などご相談ください。

東奥アドシステム

〒034-0082 十和田市西二番町7-2(東奥日報社十和田支局1階)

TEL (0176) 22-0888
FAX (0176) 22-0919

★広告制作料は5,000円(小枠)～10,000円(大枠)が目安です。詳細については右記までお問い合わせください。

契約区分	広告回数と枠区分	広告掲載料
A契約	小枠×12回 プラス大枠2回	規定によります。年間契約が原則ですが、「中途契約」も募集します。掲載料はご相談に応じます。
B契約	小枠×12回	
C契約	随時契約 (スペース・掲載料・掲載期間)等を別途設定	

「第11回鷹山賞児童作品展」 「第11回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」 「漫画で描く日本の祭り～平野勲展」

■いよいよ1月22日(日)まで！■



中学生の部 鷹山賞 「アジサイ」(水彩)
甲地香南子さん(東北町立東北中学校3学年)



平野勲「南部駒踊り」

青森県南部地方の小中学生に作品を公募した絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」。本年は、46団体1個人から862点もの力作が寄せられました。審査会において選ばれた鷹山賞を頂点とする入賞29点、入選81点とともに、併せて、地球環境をテーマに世界各国の子どもたちによる作品展も開催！また、島根県出雲市出身で、晩年を三沢市に暮らした漫画家・平野勲氏による全国各地の「祭り」をテーマに描いた作品を特別展示し、その画業の一端をご紹介します。

子どもたちによる絵画展と、ほのぼのとした作風で「祭り」を描いた平野勲氏による作品で、心をほっこりあたためていきませんか？ご家族皆さままで是非ご鑑賞ください。ご来館を心からお待ちしております。

■入館時間■ 午前10時～午後5時30分（閉館は午後6時）

■休館日■ 定休日＝毎週月曜日＊月曜祝日の場合は翌日
展示替え・館内整備休館＝1/23(月)～2/3(金)

■入館料■ 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
※20名様以上の団体、JAF会員、県民カレッジ受講者は各2割引
※上記入館料で特別展・常設展、すべての展覧会をご鑑賞いただけます

■問合せ先■ 鷹山宇一記念美術館 ☎62-5858

青森県少年剣道新人錬成大会小学生の部優勝 柏葉少年剣士隊

青森県少年剣道新人錬成大会が11月23日、青森市民体育館で開催され、柏葉少年剣士隊が、小学生の部で2年ぶり4回目の優勝に輝きました。

1回戦こそ圧勝したものの、2回戦から決勝までの4試合は全て僅差での勝利。

決勝戦の尚道館（青森市）戦は、中堅まで0-2でリードされ、あと1人でも敗れると大将戦を待たずに敗退が決定する状況でした。しかし、このピンチに副将、大将が奮起し、連勝。仲間や保護者の祈りと応援を力に本数差で大逆転の優勝を果たしました。

山田真太郎監督は「決勝戦の相手の方が技術的には上だったかもしれないが、優勝できた一番の要因は仲間同士のまとまりがあったこと。仲間同士、助け合いながら、一つの目標に向かって進んでいこうという意識が他の団体より強かった」と話し、チームの絆の強さを改めて感じています。



ふるさと自慢 わがまちCM大賞

青森朝日放送が主催する「第11回ふるさと自慢わがまちCM大賞」の審査会が11月27日、青森市で行われ、25市町村が地元をPRするオリジナルCMを出品しました。

七戸町は、七五三のお宮参りをテーマにタイトル「願いがかなう絵馬の町」を出品。入賞することはできませんでしたが、町の魅力を大いにPRしました。

この審査会の様子は、1月3日に放送（再放送は1月9日）された後、当町をPRするCMが年間30回放送されることになっています。

